

学校教育目標	「共に高め合い、生きる喜びを拓いていく子を育てます」					
	○自ら学び自ら考える子を育てます。(知) ○礼儀や規律を重んじ、他人を思いやる子を育てます。(徳) ○豊かな心と丈夫な体をもつ子を育てます。(体) ○地域や人やものを大切に、ともに生きる子を育てます。(公) ○いろいろな社会の変化に柔軟に対応できる子を育てます。(開)					
学校概要	創立 44 周年	学校長 大塩 啓介	副校長 宮崎 大	2 学期制	一般学級: 23	個別支援学級: 6
	児童生徒数: 755 人		主な関係校: 上の宮中学校・寺尾中学校・馬場小学校・菊名小学校・旭小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	上の宮中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
・自己有用感 ・主体性 ・コミュニケーション力	上の宮中学校 馬場小学校 獅子ヶ谷小学校 菊名小学校	・自分の可能性を信じ、何事にも全力で取り組む子ども ・自分の夢を情熱をもって語る子ども ・人とかかわりを大切に、他を思いやる気持ちのある子ども 【5月】授業研究会(上の宮中授業参観)／連携協力検討会 【8月】小中ブロック合同研修会(課題研究会)／連携協力検討会 【9月】授業研究会(馬場小授業参観) 【10月】小中交流日(授業見学・学校説明・部活動紹介) 【2月】情報交換会

中期 取組 目標	○全教職員が学校運営に主体的に参画し、児童ひとり一人が安心して豊かに学び育つ学校づくりを行います。 ・児童ひとり一人の学びの最適化を進め、学が喜びが感じられる学習を進めます。 ・児童の自尊感情を高め、互いに認め合う集団づくりを進めます。 ・豊かな自然環境を生かした学習を進めると共に、地域の人とかかわり、児童にとってふるさと「獅子ヶ谷」が感じられる取り組みを推進します。 ・家庭や地域との連携を図り、学校運営協議会を中心とした開かれた学校づくりを進めます。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
知 生きてはたらく知	①自ら問題を見つけ、そこから生まれる課題解決に向けて自分の考えをもち表現することができる授業づくりを行い、主体的に学びに向かう子どもを育てていく。 ②語彙表や話型を活用し、子どもたちの語彙力・表現力を高め、自分の考えを広げたり深めたりできるようにしていく。 ③情報機器を活用し、子どもたちが自分の考えを整理・選択したり、友達のを生かしたりして、自分の考えを広げたり深めたりできるようにしていく。
担当 学習指導部	
徳 豊かな心	①持続的な挨拶運動に取り組み、挨拶の良さを実感させて、居場所が感じられる雰囲気づくりをする。また、自尊感情を高める取組を継続して行う。 ②授業で多様な価値観を認め合い、多様性を認め合える素地を培って児童の人権意識を高める。職員研修で職員の人権感覚を高めて維持する。 ③地域の方々とのふれあいを通じて、地域愛を育てる学習を展開する。 ④道徳の授業では、課題意識を持たせて授業に入り、道徳的価値を確実に把握し、学んだ道徳的価値をもとにしてこれまでの自分の行動を振り返ることができるようにする。 ⑤効果的でタイムリーな職員研修を開催し、特別支援教育に対する職員の知識や技術を高め、適切な態度で児童や保護者への対応にあたる。
担当 道徳教育推進	
体 健やかな体	①各学年、単元の系統性を大切に、コロナ禍でも実施していけるように工夫しながら、学習環境を整え、運動する楽しさを味わえる学習を展開する。 ②子どもたちが自分自身の体調に気を配り適度に体を動かしたり、制限された環境の中で、できることを子どもたち自身で考えたりすることができるように、環境や場を整える。 ③給食委員会が、日々の献立やその日の給食に関わる情報を各クラスに発信し、食への関心を高める。
担当 体育部	
公開 地域連携・ 学校運営協議会	①家庭、地域、関係機関との連携を図り、地域の教育力を効果的・効率的に活用し、より豊かな教育活動へとつなげる。 (地域・学校協働活動、授業サポート、見守り隊、) ②「学校だより」のほか、「学校ホームページ」の内容を充実させ、学校の情報発信に努める。 ③学校運営協議会を設置し、保護者、地域住民、学校が情報を共有しながら学校運営を推進し、地域と共に将来を担う児童の健全な育成に取り組む。
担当 副校長	
いじめへの対応	①学年研で、積極的に専任を交えていじめ防止に向けての情報共有を行う。その情報を児童指導部で共有し、専任が取りまとめ、対応にあたる。 ②毎月行われる「いじめ防止対策委員会」において、各学年の情報や、学年、学校全体で共有し、対応にあたる。 ③「子どもの社会的スキル横浜プログラム」を、専任が中心となり、学年や学級で積極的に活用できるようアドバイスする。 ④いじめ防止アンケートを行い、いじめの未然防止及び早期発見、解決に役立てる。
担当 児童指導部	
人材育成・ 組織運営(働き方)	①業務の分散化と複数化を進め、大規模校にあっても様々な業務経験ができるようにする。 ②どの職員が不在の時でも業務の停滞を招かないよう、複数の職員が複数の業務について責任をもって進めることができるようにする。 ③2年目以降の職員に主任の業務を分散化し、業務の進め方を理解できるようにすると共に業務の偏りが極端にならないようにする。 ④次の主幹となる人材の育成を進めると共に、更にその次を担う30代前半の底上げを図る。
担当 副校長・教務	
人権・児童指導・ 特別支援教育	①授業や福祉学習を通して、自尊感情を高め、他者のことを思いやることができる児童を育成する。 ②授業で多様な価値観を認め合い、多様性を認め合える素地を培って児童の人権意識を高める。職員研修で職員の人権感覚を高めて維持する。 ③効果的でタイムリーな職員研修を開催し、特別支援教育に対する職員の知識や技術を高め、適切な態度で児童や保護者への対応にあたる。 ④国際教室では、子どもの日本語習得状況を踏まえた適切な教科学習の指導を行い、生活面・学習面ともに豊かで楽しい学校生活を送ることができるよう支援する。
担当 児童指導部	
望ましい集団活動	①人と直接関わる活動を大切にしつつ、オンラインも併用し、かかわりやつながりを実感できる授業や集団活動を行うようにする。 ②委員会活動の改善を図り、高学年の児童一人ひとりが集団活動に貢献することができるようにする。 ③世の中の変化に対応した集団活動を模索し、他者と協働しながら課題を解決する活動を行うようにする。
担当 特活部	
保健・安全 環境教育	①学校保健計画・学校安全計画を作成し、現状に合った保健指導・安全指導を行い、心身の健康の保持増進を行う。 ②日々の給食指導を通じて、食事の大切さを理解し、日常生活で実践しようとする態度を育てる。 ③自分の心身の状態に関心を持ち、心身の健康を保持増進しようとする力を育てる。 ④ごみの分別チェック、毎日の牛乳パックリサイクル活動などを通して、環境保全の意識を高める。
担当 保健・安全・環境指導部	
自分づくり・ キャリア教育	①地域の豊かな自然を生かした教育活動を充実し、体験学習を通して地域の「人」とのつながりを深め、地域のよさを実感できるようにする。 ②「横活の時間」や生活科を中心に、地域で体験を通して学ぶ機会を積極的に設け、他者との関わりの中で一人ひとりの自己有用感を高める。 ③学年に応じて、地域住民や企業がかかわる学習活動を年間計画に位置付け、学ぶことや働くことの意義を考え、働いている方の思いや願いを知ることができるようにする。
担当 生活・総合部	